

# 困難乗り越える姿共有

スウェーデンのビクトリア皇太子(44)は、カール16世グスタフ国王とシルビア王妃の長女で、スウェーデン王位の法定推定相続人です。

## Style アイコン

H&Mはじめ自国スウェーデンブランドの服とハイブランドの小物を巧みに合わせて着こなすエレガンスは、ノーベル賞授賞式などの国際的な舞台でも注目を浴びます。竹(たけ)まいにはタフネスも感じますが、陸軍で軍事訓練まで受けていると聞けば納得です。フランス、アメリカに留学し、国防大学で国際関係を研究す

### 【ビクトリア皇太子】



ビクトリア皇太子(右)と夫のダニエル王子(AFP)

るなど、王位継承者としての教養を多方面にわたたり磨き続けています。

ただ、失読症や摂食障害で苦しんでいたことがあり

ます。病気の克服はテレビ番組のインタビュで表明し、その後はこの病気の予防や対策に関わる活動にも取り組んでいます。

摂食障害は、幸運をもたらす契機だったようにも見えます。というのも、摂食障害で落ちた筋肉を取り戻すために通ったジムで、未

来の夫、ダニエル・ベストリング氏と出会ったのです。とはいえ出会った2002年当時、ダニエル氏はスポーツトレーナー。交際を知った国王は猛反対し、メディアや国民も反対ムードで擲(な)げます。それでも2人の愛は強く、国王は二王室の一員にふさわしいマナーを習得したら結婚を認めると譲歩します。

ダニエル氏は、公務に必要な教養や外国語などを7

年かけてマスターし、王室にふさわしい男性と認められて許しを得ます。国民もダニエル氏の努力と2人の絆を祝福し、2009年に2人は正式に婚約、翌年結婚します。ダニエル氏はプリンスの称号を得て2人のお子様にも恵まれます。

公務の装いには可憐なスタイルも少なくありません。それでも力強い頼もしさを感じてしまうのは、軍事訓練の成果ばかりではないようです。万難を排して愛を貫く信念、王位継承者として積み重ねたキャリア、そして病とも向き合い、克服して前進する人間的な成長。そうした姿を国民と共有する姿勢が、新時代のリーダーとして希望にあふれて見えるのです。

(エッセイスト 中野香織)